

【ものづくり 人づくり 地域づくり】

「関東子ども健康調査支援基金」参加の呼びかけ

地域の子どもたちがなに事もなく、健康でいられますように

「関東子ども健康調査支援基金」

会員を募集します！

〔目標〕

- ・福島市民測定室や、全国の団体・医師らと連携して、茨城・千葉を中心にした関東での子ども健康スクリーニング体制をつくります。
- ・広く賛同団体、会員を集めて地域を挙げて子どもたちを長期的に見守る体制づくりに地域生協が役割を果たします。
- ・9月を目途に基金の運営体制を確立し、秋以降具体的な診療を支援できるようにします。
- ・当面、甲状腺エコー検診の1次スクリーニングから始めていきます。尿検査は時間がかかりますが、生協による検査との連携を考えます。
- ・国や行政に保健・医療体制を整えるよう働きかけます。

〔参加申込み方法〕

別添「参加申込書」にご記入の上、下記 OCR 下段特別企画欄に6桁番号と口数をご記入下さい。

〔正会員〕1口 2,000 円 No. 500253 〔賛助会員〕1口 1,000 円 No. 500254



国連人権理事会による日本政府への勧告（抜粋）

国連特別報告者アナンド・グローバー氏「日本調査報告書」(2013 年 5 月 23 日国連人権理事会にて)

国連人権理事会における「到達可能な最高水準の身体及び精神の健康を享受する権利」に関する特別報告者は、2012 年 11 月 15 日の政府からの招待を受けて、日本を訪問した。

日本は、数々の人権諸条約を批准している。日本国憲法 25 条は公衆衛生を促進するよう、国家に義務付けている。

日本の原発事故は、避難者及び居住者の健康に対する権利に悪影響を及ぼし、特に、妊婦、高齢者及び子どもの身体的及び精神的健康に影響している。放射線被ばくの健康への正確な影響はいまだ明らかになっておらず、低線量電離放射線の長期的な影響もまた研究中である。避難は、特に緊急救援に関わる人々、高齢者、及び母子の間に精神的健康に関する問題を生じさせ、家族及びコミュニティの破壊を引き起こしている。

国連人権委員会特別報告者は、原発事故の影響を受けた人々に対する健康調査について、日本政府に対し以下の勧告を実施するよう求める。

- ・全般的・包括的な検査方法を長期間実施するとともに、必要な場合は適切な処置・治療を行うことを通じて、放射能の健康影響を継続的にモニタリングすること
- ・年間 1mSv 以上の地域に居住する人々に対し、健康管理調査を実施すること
- ・子どもの健康調査は甲状腺検査に限らず実施し、血液・尿検査を含むすべての健康影響に関する調査に拡大すること
- ・甲状腺検査のフォローアップと二次検査を、親や子が希望するすべてのケースで実施すること
- ・放射線量のレベルについて、独立した有効性の高いデータを取り入れ、そのなかには住民による独自の測定結果も取り入れること
- ・避難地域・公衆の被ばく限度に関する国としての計画を、科学的な証拠に基づき、リスク対経済効果の立場ではなく、人権に基礎をおいて策定し、公衆の被ばくを年間 1mSv 以下に低減するようにすること

【特集総代会（3）】当日参加した生産者から組合員みなさんへのメッセージ

もっと組合員みなさんに 身近に感じてもらえるように！

埼玉県川口市

21 世紀コーヒー

児玉 研



先日弊社の出展テーブルにお立ち寄りいただいた皆様、誠にありがとうございます。「食べるコーヒー」ということでご提案させていただいた「コーヒークッキー」がご好評いただき、またコーヒーについても様々なご質問・ご意見を頂戴し、有意義な時間となりました。今後はより組合員様に身近に感じていただけるようコーヒー教室の開催・新商品のご提案も予定しておりますので、よろしくお願い致します。

ありがとうございました！

「自分たちの生協なんだ」という意識を 強く感じました。

茨城県石岡市

JA やさと 産直課

岡田 文雄



交流会へ参加させて頂き、感じたことですが、生協職員、組合員がひとつとなって、「自分たちの生協だ」という意識が強く感じられました。

組合員数の多い、少ないに関係なく、今の現況を続けていきたいと思います。微力ながら JA やさとも取り組んでいきたいと思っています。

はちみつで食と暮らしの見直しのお手伝い！

東京都目黒区

藤井養蜂場 東京支店

三浦 修



3年ぐらいははちみつ学習会やっていませんが、以前に参加された組合員さんが詳しく内容まで覚えており、あれから蜂蜜を使うようになったと聞きました。なんともうれしいことです。

ぜひまた、学習会を開催しましょう！

★今週 7/4 回 16 ページは、藤井さんの「はちみつ特集」です。貴重な「花別（はなべつ）」のはちみつです。

たくさんの要望に感謝！

千葉県千葉市

ランカスター（紅茶製造販売）

林 徳久



交流会で組合員さんの生の声が聞けました。定番商品の他にもたくさんの御要望がございました。当日、新商品（ハイビスカスティー）を試飲していただきましたが、「こんなものがあったんだ！」と喜んでいただきました。

まだまだ御紹介できていない商品があると実感いたしました。新しい商品をどんどん御案内して、組合員さんを飽きさせないよう努めてまいります。今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

★うわさの「ハイビスカスティー」は 7/4 回カタログ 14 ページ 399 番に掲載されています。

★夏は水出しして藤井さんのハチミツを加え、おうちでリムート気分をどうぞ！

理想高い生協と今後も一緒に。

千葉県船橋市

金庄（海苔販売）

金子 正



常総生協さんの組合員、職員、生産者が三身一体となった交流の深さに敬意を申し上げます。

大変理想高き活動で弊社も協働出来るよう勉強させて頂きます。また、商品勉強会を出来るよう今一度再構築させていただきますのでご指導宜しくお願い申し上げます。

常総生協の組合員の皆さんの 温かさを感じました。

東京都目黒区

プレス・オールターナティブ

市原 由貴



今回初めて総代会・交流会に出席させていただきました。組合員さんより「会えてよかった！」「元気をもらいました！」との言葉をいただき、大変うれしく思います。また「いつも使ってるよ！」「おいしい！」などの言葉を直接お聞きすることができ、皆さんの温かさを感じました。

常総生協の皆さんは「食のつながり」をととても大事にしていることがわかり、私も生産者としてその一員ということが確認できました。今後も組合員の皆さんに良いものを届けられるよう努めていきます。ありがとうございました。

【特集総代会（3）】総代会に参加した東北の生産者からのメッセージ

生産者同士がつながったものづくりを、 少しずつ始めています。

岩手県大船渡市

コタニ（海藻・乾物製造）

小谷 幸治



日ごろからお世話になり、また震災後は皆様には大変お世話になり、ありがとうございます。

まず、地元の震災後の状況ですが、見た目にはなかなか進んでいないような状況なのですが、少しずつ工場が再開しています。私どもも本格的に工場を動かし始めて約1年が経ちました。

いろいろなご支援いただきまして、「ものづくりを真面目に正直に、もう一度やろう」と再開しました。皆様のご協力もありまして、なんとかさせていただいております。

「趙さんの味」のキムチの中に私どもの昆布を使っていただいているように、生産者同士をつなげることや協力を、生協さんに担っていただきました。地元でも、再開した業者同士で、現地で採れるものの良さが分かってもらえるようなものづくりを、何社かで協力しながら進めています。

今できることをまず一所懸命やらなきゃいけない、そういう気持ちでおります。ありがとうございます。

これからもつながって、 安心の食べものの作りを！

宮城県仙台市

趙（ちょう）さんの味（キムチ製造）

李 香星



私はキムチと焼肉のたれを作っております

まず「趙さんの味」の李 香星（いー・ひゃんそん）と申します。仙台でずっとキムチを作り続けてきたのですが、工場を建て替えて1ヶ月後に震災、津波にあい、全て流されてなくなりました。それから昨年の7月にやっと再開できました。

あいコープ福島さんのお祭りをきっかけに常総さんと知り合うことが出来まして、そしてそのあとに、なんとあの魚住さんの白菜やたくさんの野菜を運んでいた

だいて、コタニさんの昆布とか大木代吉さんのお酒とか、常総さんで使っている素材を使わせていただいて、すごく協力していただきました。

そしてその出来上がったキムチを、組合員の皆様に購入していただきました。本当にありがたいと思います。この場を借りまして御礼申し上げます。

私ができることというのは、やっぱり皆さんが安心して食べられるもの、それも美味しいものを作らないといけないと思うんですね。

その為には、やっぱり常総さんの野菜など、いい素材を使ってキムチを作りたい。キムチ以外にも作っていきたくと思っています。これからもよろしくおねがいします。

生産者交流会で新発見！

海藻のコタニさん・キムチの趙さんの味
夏におすすめ！のコラボな一品のご紹介。



松葉美穂（千葉地区理事）

生産者交流会では、海藻のコタニさんのブースをお手伝いをさせていただきました。

社長さんが試食用わかめを持って、「趙さんの味のキムチの汁をちょっともらえないかなあ。僕は家でよくこのわかめにキムチを混ぜて食べるんだけど、**わかめとキムチ**って、とても合うんですね」とおっしゃいました。

それを聞いた私は「コチュジャンを頂けませんか？」と趙さんのブースへ。李さんは快諾してくださり、コチュジャンをのせたわかめを周りの方に配ったところ、

「**これはうまい！**」と。それを聞いて私も頂いたら感動の味！素晴らしいコラボ！

同じくそれを召しあがった李さんも「これはもっとコチュジャンをかけた方がいいわ。遠慮しないで！」とたっぷりかけてくださりました。

皆さんにおいしいと言っていただき、コタニさんの社長さんにも喜んでいただき、さらに本当に感動の味が生まれてよかったです。皆さんもぜひお試しください。

そんな**コタニさんの「わかめ」と趙さんの味の「コチュジャン」**は、今回のカタログ7/4回に掲載されています。コチュジャンは「ちょっと多め」がおすすめです。



18 番



12 番

【委員会報告】 脱原発とくらし見直し委員会（第23回）

8/24(土) この2年間の「原発事故、被ばく・食品汚染・環境汚染」報告会を開催します。

脱原発とくらし見直し委員会（第23回）が開催されました
●7/1(月) 10:00～13:30 14名が出席（お子さん連れの初参加も！）

●各種イベントや行動への参加報告

① 6/7(金) 放射能から子どもを守ろう関東ネットと共に支援法適用に関する省庁交渉＆署名提出（東京）

みなさんの署名ありがとうございました。交渉は進展なし、署名は受理されたけど、結果は国会最終日の問責決議で流れるという最悪な状況になってしまいました。

② 6/8(土) ドイツに学ぶ再生可能エネルギーと日本の今、「シェナウの想い」上映会＆講演会（柏）

チェルノブイリ事故後、親達が脱原発へと立ち上がり、送電網を買い取り、2度の国民投票などを描いた映画。長い年月をかけて今のドイツがあると思った。

③ 6/15(土) 16(日) 市民と科学者の内部被曝問題研究会総会・報告会（東京）

かなりシビアな話が展開。常総生協からの報告は組合員も是非聞くべき→報告会を計画することに。

④ 6/23(日) 茨城県母親大会（守谷）

この委員会メンバーが特別分科会スタッフとして頑張りました！（追ってニュースで報告されます）

⑤ 6/29(土) 小森陽一講演会「これからの日本を考える」（つくば）

参院選でも話題の自民の憲法改正草案を詳しく説明してくれた。日本の憲法は素晴らしいと思った。「あたらしい憲法のはなし」（童話屋編集部 300円、無料電子データもあり）は必読です。



●8/24 被ばく調査2年間の報告会を開催します。

3.11 原発事故以降、常総生協で行った調査結果を、きちんと組合員に報告しようということになりました。

母乳・尿検査から始まり、ハウスダスト調査・空間や土壌汚染の調査・最近行った血液や甲状腺検査の結果などについてを報告し、今後について討議します。

会場等は決まり次第、ニュースレターなどでお知らせします！組合員・職員、出来る限り参加して聞いてもらえるようにしたいです。

●委員会の運営を一部変更しました

「委員会たより」は廃止にし、今後はこのようにニュースレター内で報告します。開催時間もお子さん連れでも参加しやすいように2時間に短縮します。

●次回の委員会は9/4(水) 10-12時！是非ご参加ください(´▽`)/

ぜひ見て聞いていただきたい映画と交流 7/17「フタバから遠く離れて」「原発の町を追われて」

TSUKUBA カピオ 上映会 & 交流トーク
フタバから遠く離れて
Nuclear Nation
監督 船橋淳 テーマ曲 「for futaba」 坂本龍一 2012/96分/日本

7/17(水) 13:00～21:00

原発の町を追われて
監督 堀切さとみ 2012/56分/日本

3・11 震災原発事故直後、強制避難を強いられた双葉町は、町民の安全を求める井戸川元町長の決断によって、遠い地での避難を遂げました。役場機能を埼玉 県加須市に移し、廃校になった旧騎西高校で多くの町民が避難生活を送り続け、いまでも百名以上が暮らしています。2つの映画「フタバから遠く離れて」と「原発の町を追われて」は、テレビが伝えようとしなかった、避難先での日常を記録した必見のドキュメンタリー作品です。「家族と一緒に、暖かい食事を食べる平穏な日々」そんな当たり前の生活が奪われた暮らしを伝えています。ふるさとを追われて2年、今年6月17日に役場がいわき市へ移り、避難所の閉鎖を迫られ、いまだ線量の高い福島への帰還を求められる人々。東海原発を擁する茨城県民として「これは自分たちの姿だったかもしれない」という思いを持ちながら、「故郷を失うとはどういうことか」「私たちは、どう生き方をしていくべきなのか」考えを深めるきっかけにできればと思います。

【チケット料金】一般 1000 円 (1 日券)
学生と連席されている方は無料

主催 福島応援プロジェクト茨城
つくば市役所 955-5 元小郡内といき会 TEL 029-869-9108
長部 090-7845-6099 小園 090-9108-0461 金子 090-1057-3123

◆タイムスケジュール◆
13:00 開場
13:30～15:10 「フタバから遠く離れて」上映
15:20～16:20 「原発の町を追われて」上映
16:30～17:30 交流トーク
19:00～20:40 「フタバから遠く離れて」上映

つくばカピオ TSUKUBA CAPIO
〒305-0032 茨城県つくば市竹園 1-10-1 TEL 029-851-2886
駐車場は近隣の有料駐車場をご利用下さい。1 日券 (1,000 円) は予約してください。

福島応援プロジェクト茨城「茨城の夏満喫ツアー」
2013 年は 8 月 6 日～10 日 茨城県立中央高等学校の運営
福島の小学生～中学生を 30 名招待します。
ボランティアスタッフ、監修委員会、カンパ募集中。
受付は 1 日 20:1 9:00～20:40 6/17 5/15/16 日、福島県 2013 年 1 月

7/17(水) 13 時～ つくばカピオ 参加費 1000 円

組合員の小張さんらの「福島応援プロジェクト」主催で映画会と交流トークが開催されます！組合員のみみなさまには、ぜひ見ていただき、知っていただきたい映画です。

(小張さんからのメッセージ)

何処へどうやって避難すべきかも知られずに、逃げまどいた人々がたどった年月。その生活を記録した映画を通して、苦難の日々に寄り添いたいと思います。

3・11 震災原発事故直後、強制避難を強いられた双葉町は、町民の安全を求める井戸川元町長の決断によって、遠い地での避難を選びました。役場機能を埼玉 県加須市に移し、廃校になった旧騎西高校で多くの町民が避難生活を送り続け、いまでも百名以上が暮らしています。2つの映画「フタバから遠く離れて」と「原発の町を追われて」は、テレビが伝えようとしなかった、避難先での日常を記録した必見のドキュメンタリー作品です。

「家族と一緒に、暖かい食事を食べる平穏な日々」そんな当たり前の生活が奪われた暮らしを伝えています。ふるさとを追われて2年。今年6月17日に役場がいわき市へ移り、避難所の閉鎖を迫られ、いまだ線量の高い福島への帰還を求められる人々。東海原発を擁する茨城県民として「これは自分たちの姿だったかもしれない」という思いを持ちながら、「故郷を失うとはどういうことか」「私たちは、どう生き方をしていくべきなのか」考えを深めるきっかけにできればと思います。